

内閣府青年国際交流事業 地域課題対応人材育成事業  
「地域コアリーダープログラム」 高齢者分野 地方セミナー

通訳あり

先着 80 名

# 私らしく暮らせる地域「くまもと」 ～自分の人生を選択できる社会を目指して～

テーマ「これからの高齢者」「インフォーマルサービスの可能性と価値」「より良い連携のあり方」



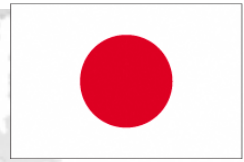
フィンランド



ドイツ



ニュージーランド



日本（熊本）

みなさんは将来、どんな場所でどのように暮らしてみたいですか？  
少子高齢化が進み、高齢者を支える現役世代が減る中、自分の将来に不安はありませんか？

福祉先進国といわれるフィンランド・ドイツ・ニュージーランドの高齢者は、どのような場所でどのような生活をしているのか？このセミナーでは、各国の高齢者問題に対する取組を、海外青年が発表します。高齢者支援に関心のある皆様へ、また自分達の将来を考える皆様へ、各国の取組から、きっと新しいヒントが得られるでしょう。

**日時**：平成 31 年 2 月 22 日（金）10:00～12:30（9:30～受付）

**場所**：県庁本館 801 号室 県庁の駐車場も無料利用可能です。駐車券を会場受付にお持ちください。

**対象者**：高齢者分野の地域課題や国際交流に関心のある行政、医療・福祉機関、自治会、学生の方など

**参加費**：無料

**申込方法**：参加希望の方は、氏名・連絡先をご記入の上、FAX または E-mail で右記宛先へお申し込みください。

申込先：熊本県くらしの安全推進課  
F A X：096-382-7403  
E-mail：etou-e@pref.kumamoto.lg.jp  
締 切：平成 31 年 2 月 15 日（金）

午後の部（13:30～17:00）は、海外青年を交えたディスカッションを計画しています。  
この機会に、海外の取組について詳しく聞いてみませんか？（定員 24 名、通訳あり）

切り取らずにそのまま FAX 送信してください。

## 参加申込書

氏 名	連絡先（TEL・E-mail など）	所属（所属なしの方は一般と記入）	ディスカッション参加	
			有	無
			有	無
			有	無
			有	無

※ 取得しました個人情報は、本セミナーに関連したご案内・情報提供を行うために必要な範囲内においてのみ利用させていただきます。

問合せ先：熊本県くらしの安全推進課 担当 江藤 TEL096-333-2294



主催：内閣府・一般財団法人青少年国際交流推進センター

主管：熊本県青年国際交流機構 協力：熊本県

## <各国発表のテーマ（午前の部）>

### フィンランド：「これからの高齢者像の啓発」

高齢者の社会参画など、社会における多様な価値を新たに検討し、人々の高齢者に対する認識をより良いものにしていくための啓発方法を考える。高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるためには、現在の高齢者を取り囲む地域環境に合わせた情報提供を行い、高齢者自身も社会の担い手として当事者意識をもって取り組める環境を整えていく必要がある。今回、個人主義で核家族の先進事例が多く、日本よりも個人の権利を尊重する文化が比較的社會に根付いた国々の青年と交流することで、変わり行く家族形態や地域環境の中で、高齢者がどのようにして世の中に新たな価値を創出していけるか、参考となる取組のヒントを探る。

### ドイツ：「インフォーマルサービスの可能性と価値」

インフォーマルサービス（ボランティアや地域住民など、互助による取組の意）という焦点では、既存の組織体（行政や企業、医療保健福祉など）では提供することが難しい領域におけるサービスの可能性と価値を議論する。また、その具体的な事例を共有し、高齢者世代である当事者をはじめ、高齢者の支援者、高齢者を支える地域社会がインフォーマルな枠組で活動し、地域の多様な生活に柔軟に対応できる互助のあり方について考える。

### ニュージーランド：「より良い連携の在り方」

高齢者が自分らしい暮らしを継続するには、医療・介護・福祉のみならず、専門の垣根を超えた連携が必要になってくる。高齢者を取り巻く、家族、行政、住み慣れた地域などに関するすべての人々の役割について認識し、連携の在り方について考えたい。住み慣れた地域で暮らしを続けるためには、どのような連携が求められ展開されるべきか、検討する。

### 日本：「ともに成長していくことができる地域づくり」てとてとココロ在宅支援研究会

てとてとココロは業種を超え、「どうやったらできる」をひたすら考え、笑顔でいきいきとつながりながら、ともに成長していくことができる地域づくりを実践している。本セミナーでは、てとてとココロの活動、自宅支援、他職種連携などを紹介し、私たちが住み慣れた地域において高齢者および支援者がどのような連携があり、実践ができるかを検討する。※てとてとココロ：主に熊本市北東部・菊陽町・合志市など地域で活動展開している研究会。

## <海外青年（9名）の所属先等>

	国	職業	職場名/学校名	部署/役職
1	フィンランド	公務員	社会保健省	福祉サービス部 弁護士・特別法律顧問
2	フィンランド	団体職員	フィンランド高齢者福祉協会	サークル・オブ・フレンド 地域コーディネーター
3	フィンランド	団体職員	フィンランド高齢者福祉協会	サークル・オブ・フレンド 自立活動支援、地域コーディネーター
4	ドイツ	公務員	連邦家族・高齢者・女性・青少年省	高齢福祉・少子高齢化対策・インクルージョン・国際高齢者政策課 課長
5	ドイツ	団体職員	ドイツ高齢市民組織全国協議会	健康と介護シニアポリシーオフィサー
6	ドイツ	団体職員	ポマーシャ・ディアコニー福祉事業団	市民ポート コーディネーター
7	ニュージーランド	団体職員	南カンタベリー長老教会支援団体	コミュニティ・サービス 臨床コーディネーター
8	ニュージーランド	団体職員	セルウィン財団	ケア・マネージャー
9	ニュージーランド	団体職員	エイジ・コンサーン・オークランド	地域開発と健康増進 地域開発コーディネーター



全体会（午前の部）における海外青年による発表（昨年の様子）



ディスカッション（午後の部）における海外青年との意見交換の様子（昨年の様子）